



平成 30 年 5 月 11 日

各 位

上場会社名 東洋エンジニアリング株式会社
 代表者 取締役社長 永松 治夫
 (コード番号 6330 東証第一部)
 問合せ先責任者 経理部長 大和 武史
 (TEL 047-454-1521)

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正ならびに 営業外収益(持分法による投資利益)の計上に関するお知らせ

当社は、米国で遂行中のエチレン製造設備プロジェクトにおける採算悪化を受け、平成 30 年 2 月 7 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)の通期連結業績予想の修正を決議いたしました。営業外収益の計上と併せて、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成30年2月7日発表)	350,000	△ 18,000	△ 16,000	△ 18,000	△ 469.54
今回修正予想(B)	335,000	△ 33,000	△ 27,000	△ 27,000	△ 704.29
増減額(B - A)	△ 15,000	△ 15,000	△ 11,000	△ 9,000	
増減率(%)	△4.3%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	431,917	△ 2,009	1,603	1,472	38.42

(2) 修正の理由

米国向けエチレン製造設備プロジェクトにおける工事コストの大幅増加と工事進捗率の低下により、売上高は前回公表値から 150 億円減収の 3,350 億円、営業利益は前回公表値から 150 億円減益の△330 億円となる見込みです。

一部持分法適用関連会社の収支改善等による営業外損益の増益により、経常利益は 110 億円減益の△270 億円、投資有価証券売却益等の計上と税金費用の減少により、親会社株主に帰属する当期純利益は 90 億円減益の△270 億円となる見込みです。

米国向けエチレン製造設備プロジェクトについては、当第 4 四半期において、工事業者と生産性改善施策を講じながら工事を進めてまいりましたが、配管工事の段階に入り工事業者の溶接工の動員力不足等による遅れが後続の電気・計装工事にも影響し、現在の工事業者 1 社体制のままでは、工事全体の進捗の遅れとそれに伴う工事費用の増加が懸念される事態になりました。これに対し、動員力増強と生産性向上による工事進捗の回復と加速化を図るべく、新たに工事業者を 2 社起用し全工事残量の約 50%を移管し、また、当社と工事業者がより一体化して適時に対応ができるよう現場体制を強化いたしました。その結果、これらの対策にかかる工事費用および当社人件費につき大幅な増加を見込まざるを得なくなり、売上高の減収、営業利益の減益となりました。

2. 営業外収益(持分法による投資利益)の計上について

ブラジル・シンガポールの持分法適用関連会社が遂行するプロジェクトの収支が改善したことなどにより、平成 30 年 3 月期通期連結業績におきまして、持分法による投資利益 60 億円（同第 3 四半期連結累計期間は 1,769 百万円）を計上する見込みです。

（注）上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以上